

施策評価シート

河辺雄和

商工会

令和元年度(3年目)

※施策評価判定基準: 施策を構成する事業の評価結果に基づき、(A)(順調)、(B)(概ね順調)、(C)(一部未達成)の3段階で評価する。

戦略1 育て・挑戦を支える商工会

施策1	個社支援強化のための支援体制づくり	【重点推進施策】	総合評価	(A)
-----	-------------------	----------	------	-----

事業1	巡回による「課題抽出調査」の実施	A
事業2	チーム支援の積極的活用	A

評価理由	課題	今後の対応方針(改善点)
「課題抽出調査」を各種補助金の活用提案に活かしている。 従来から複数担当制を採っているほか、必要に応じてチーム支援を行っており、全体では職員間で連携したチーム支援が増加している。	「課題抽出調査」の結果の更なる活用策の検討が必要である。 チーム支援の取扱基準を定め、職員間のバラツキ低減と支援精度向上に向けた工夫。	事業所の状況把握のため、5年毎に「課題抽出調査」を継続実施する。 件数等具体的な目標設定により、チーム支援の精度を高めるための検討を行う。

施策2	地域の強みを最大限に活かしたビジネスチャンスの拡大	【重点推進施策】	総合評価	(B)
-----	---------------------------	----------	------	-----

事業3	既存事業者と農業者の交流によるビジネスチャンス拡大	B
事業4	農商工連携、6次産業化、グリーンツーリズム施策の活用強化	B
事業5	事業者の誘致促進及び創業支援強化	B

評価理由	課題	今後の対応方針(改善点)
農業会員の増強に努力しており、加入者も増加傾向にある。 農業会員の補助金活用等は増加傾向にあるが、組織化や交流などは行えていない。 芸術家の創業支援は停滞気味にある。	今後は、農業会員と既存事業者の連携方法について具体的な検討が必要。 現状では受け身的指導が多く、提案型に結び付けられるよう対策を講ずる必要がある。 芸術家の創業支援策について検討が必要。	農業部会開設などを具体的に検討する。 農業関連事業者への支援経験を積むことで、支援ノウハウを蓄積する。 今後も農業者等の創業支援に力を入れる。

施策3	実効性の高い会員加入促進運動の実施	総合評価	(B)
-----	-------------------	------	-----

事業6	会員加入促進運動の実施	B
事業7	「農業部会」創設の検討	B

評価理由	課題	今後の対応方針(改善点)
目標には到達しなかったが、会員数を維持できた。 役員の加入促進に対する意識が高まってきた。 芸術家の加入促進は停滞しているが、農業者の加入は計画以上に進んでいる。	新規加入者の増加に向け、ターゲットの絞り込みや加入促進方法についてより深く検討する必要がある。 農業者会員と一般会員の連携方法について検討する必要がある。	今後は、未加入分析を行い、役職員一体となって加入促進運動に取り組む。 他県で農業部会を設立している事例があることから、先進地視察等情報収集に取組む。

戦略2 プロ集団の商工会

施策4	優れた個社支援を実施するための職員の資質向上	総合評価	(A)
-----	------------------------	------	-----

事業8	「職務遂行能力チェックシート」活用による自己啓発	A
事業9	OJTの推進	A

評価理由	課題	今後の対応方針(改善点)
個々の職務遂行能力の向上、職員間の連携が高まっている。 職員一人一人が複数の業務に対応できるように複数担当制を採り、会員等への対応が遅れないように意識して取組んでいる。	特になし。	職務遂行能力の向上に努めつつ、有給休暇を取得しやすい環境づくりを進める。 継続したOJTにより、職員が入れ替わっても業務に支障が出ないようにする。

戦略3 事業者が主役の商工会

施策5	商工会事業に会員の声を反映	総合評価	(B)
-----	---------------	------	-----

事業10	アクションプログラム推進委員会(仮称)の設置と運営	B
------	---------------------------	---

評価理由	課題	今後の対応方針(改善点)
概ね順調に推移しているが、一部でC評価もあったことから、改善の余地あり。	現在C評価の項目の対応。	現在C評価の項目を、B評価になるよう具体的な対策を講ずる。

施策評価シート

河辺雄和 商工会

令和元年度(3年目)

※施策評価判定基準: 施策を構成する事業の評価結果に基づき、A(順調)、B(概ね順調)、C(一部未達成)の3段階で評価する。

施策6	青年部・女性部事業の見直し		総合評価	◎
	事業11	個社の「経営革新」への取組発表	C	
	事業12	既存商品の見直しと新商品の市場調査	B	
評価結果	評価理由	課題	今後の対応方針(改善点)	
	・事業実施ができなかった。 ・今年度成果を踏まえ、次年度以降も事業の充実化に努めてほしい。	・計画的な事業実施のための企画段階での課題整理。 ・市場にマッチした(地域の特徴を活かした)商品見直し若しくは新商品開発を目指した市場調査(市場分析)の充実。	・経営革新に積極的に取組もうとする部員を多く輩出できるよう、引き続き取組む。 ・共同経営者として、具体に自社商品の改良に取組むことができるよう、一層のスキル向上に取組む。	

戦略4 機動的・効率的な商工会

施策7	広域連携による効率性の高い事業の構築		【重点推進施策】	総合評価	Ⓐ
	事業13	広域連携による効率性の高い事業の構築	A		
	事業14	講習会等の広域連携開催による事務効率化	A		
評価結果	評価理由	課題	今後の対応方針(改善点)		
	時流にマッチした講習会を中心に他商工会と連携して実施した。	特になし。	継続して他商工会と連携した講習会等を企画する。		

戦略5 環境変化に強い商工会

施策8	商工会館の早期移転		総合評価	Ⓑ
	事業15	行政に対する要望と移転先の検討	B	
	事業16	地域振興専門委員会における費用引当てに係る協議	B	
評価結果	評価理由	課題	今後の対応方針(改善点)	
	会館の補修工事により早急な移転からは免れた。今後は秋田市との課題共有により、候補地を紹介いただく等移転に向け一層の取組強化が必要。	近い将来、更なる補修工事が必要となることが想定されるため、ここ5年以内には候補地の目的を立てることが必要。	今後も、強く秋田市に移転候補地の紹介を要望する。収支差額が多少減少傾向にあることから、今後毎年150万円の引当ができるかどうか危惧される。	

施策9			総合評価	
評価結果	評価理由	課題	今後の対応方針(改善点)	

施策10			総合評価	
評価結果	評価理由	課題	今後の対応方針(改善点)	